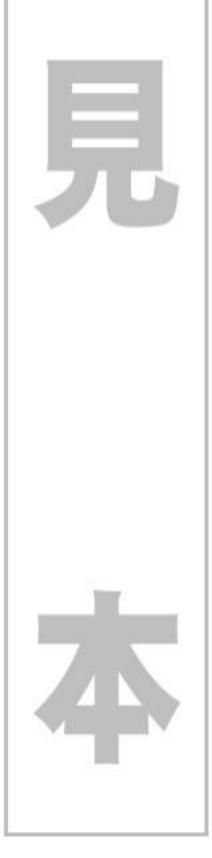
X . 木工事



- 2)建方
- 3)軸組関係
- 4)外部まわりフ
- 5)断熱材入れ
- 6)内部各下地
- 7)造作



1) 土台敷き







グ座金使用 側面に

ホールダウン (通し柱の

- a . 土台の位置墨を出す。
 - (1)基礎完了時に打たオ ら位置を調整し基準
 - (2)基準位置墨を基礎ラ
 - (3)基準位置墨を基にす
 - (4) 土台位置墨は土台(
- b . 1 階床組立て図を見な
 - ・この時点で土台の長 しておく。
- c . 土台に 16mm 程度のテ
 - ・アンカーボルトが斜
- e . ねこ土台を各取り付け

ねこ土台

f . 土台の小口およびアン

防腐剤を塗布すべき部

- g. 土台および火打ち土台
 - (1) 土台割付け図を確認
 - (2)外回りの長手方向の
 - (3)内部土台の男木・す

↓礎と土台のずれ限度を勘案しなが

-る。

,基礎天端に土台位置墨を打つ。

を避ける)

の土台を基礎周囲に配る。

部材の曲がりや割れ等をチェック

かじめ直しておく。

る。

3分

[面および仕口加工部分

tける。

っていく。

- (4)アンカーボルトに座金(スプリング座金)を敷き、すべての土台をナットで締め付ける。
- (5)火打ち金物を取り付け、ボルト(逆目釘)で固定する。
- (6) 大引き受け金物 (OJH 105) を固定する。

- h . 土台取付けの完了確認を行う。
 - (1) 土台の通り、継手、 する。
 - (2) 各辺の全長を測り、
- i.鋼製束を大引きの所定
 - ・レベルは上棟後に根

2)建て方

- a . 建て方準備
 - (1) 先行して足場を設置
 - (2)工場による各階床約
 - (3) 構造材をできるだけ
 - (4)仮筋かい足場板、雲
- b.一階の建て方
 - (1)通し柱にからむ一糸図面の番付けに基べる。

柱に胴差を差し込 クレーンで静かに

- (2) 同要領で隣の外周部
 - ・横架材接合部男木
- (3)同要領で内部軸組を
- (4)1 階部分の建方がデがみを調整して、垂
- (5)2階の甲乙梁を取じ
- c . 二階の建方



下陸等不具合がないかどうか再確認

よび接着剤を塗布し設置する。

[方の順番を定める。

-ンで建て起こす。

およびこの胴差にからむ管柱を並

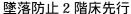
する。

iを確認した後仮筋かいで固定する。 leて起こす。

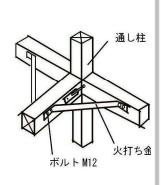
. .

、、下げ振りを用いて軸組全体のゆ 筋かいを取り付け固定する。





- (1)落下防止等2階建て方作業の安全措置を行う
 - ・開口部分に安全ネットを張る。
 - ・2 階作業用はしご
 - ・足場板や合板を用
- (2)外周部軸組を組み込
- (3) 内周部軸組を組み立
- (4)柱の垂直を確認し、
- (5)作業用はしご等昇降
 - ・踏み面.....
 - 柱脚部.....
- (6) 小屋梁を取り付ける それぞれの軸組は 敷地内に作業スペ クレーンが使用で る。
- d . 1階~2階の小屋組
 - (1)足場板等により1%
 - (2) クレーンによって3
 - (3)2階の小屋組を行う
 - ・小屋組立図と照合
 - ・母屋および棟木を
 - ・母屋の上に数本の
 - ・小屋束の垂直を確
 - (4)1階の小屋組を行う
- e . 第一次構造金物取付け







もの

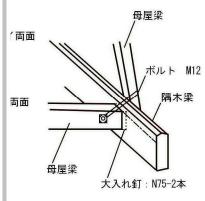
からクレーンで 2 階に上げる。 上で組み立てて建て起こす。 ⋸結び付け、布丸太で足場を確保す

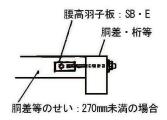
能床をつくる。 tる。

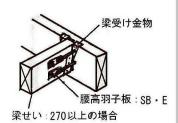
桁の上に取り付ける。

取り付け固定する。

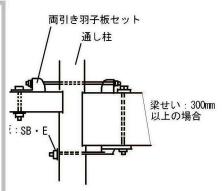
子板金物等)







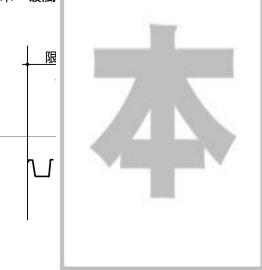




(1)金物取り付け忘れ*t*. る。

> (通常は、(1) 胴差 小屋回りかすがい

- (2) 各接合部に所定の€
 - ・胴差回り(または
 - ・火打ち梁を取り付
 - ・小屋束まわりのか
- (3)最後に金物の付けた
- 3)軸組み
 - a . 2 階屋根の垂木・破風



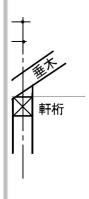


「できるように取付けの順番を定め

物 (2)火打ち梁・ボルト (3) める。)

昼金はすべてスプリング座金を使用

減検する。



- (1)図面を確認する。
 - ・軒の出寸法.....
 - ・軒先の納まり.....
 - ・トップライト・棟
- (2)垂木を取り付ける。 定尺材垂木で足り 垂木継手が出る部 手を取る。

垂木の継手

- ・母屋上 50mm 程
- ・継手位置は乱に
- (3) 軒先をカットする。 図面に基づき軒先 垂木をカットする
- (4)破風板を取り付ける 垂木の先端に水糸 所定の継手加工を
 - ・既製品不燃破風 取り付け補強し

木製化粧破風板の

- ・釘打ち.....
- ・継 手.....

化粧不燃破風板の

- ・釘打ち.....
- ・継 手.....
- (5)下げ振りを用いて舞
 - ・念のため斜線制
- (6) 桁方向のすべての₺



|樋先端見なし線を示す

を施し、棟から垂木を流す。 を割り付け、母屋上所定の位置で継

2本両側から斜め打ち)

木上端に墨を打つ。

認する。

ける。

こしてあらかじめつが板等を垂木に

ュー65 またはフロア 65

補強)

5 またフロア 65

醒)

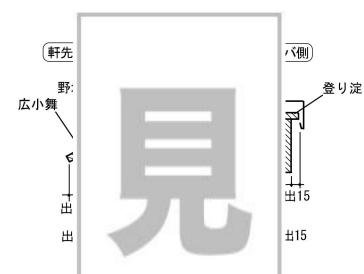
<u>-</u>照合する。

する。

٥,



b.2 階屋根の野地板張り



- (1)軒先合板の位置を気
 - ・軒先合板(または

石綿スレート葺き 瓦葺き

(2) 軒先合板を張る。

墨に合わせて軒先 合板相互は千鳥に 合板に乗ったとき 順次、軒先の周囲 軒先合板が張り終 同様にして2段目 最上段の合板のカ

- (3)垂木の通りに釘打?
 - ・野地板の釘打ち...
- (4) 瓦屋根の場合
 - ・軒先に広小舞を、
- (5) トップライトがある トップライトの納 取り付けるトップ
- c . 内外部筋かい取付け
 - (1)図面を確認する。
 - ・筋かいを入れるべき箇所
 - ・筋かい材の寸法
 - ・筋かいの向き

)の位置墨を出す。

けらば	
15mm	
15mm	

端の垂木当たり部分に仮釘を打つ。

んと打っておくこと。

引囲に小割角材等を打ち付けておく。 げる。

する。

『本留め釘を打ち付ける。 ^{内外}

付ける。

ので、よく打ち合わせしておく。 あけて本体を固定する。



- (2)筋かい材を加工する。
 - ・土台と柱に合わせて筋かい材の下部を突き付け加工する。
 - ・筋かい材を軸組にす
 - ・筋かいの上部下部
 - ・筋かいの上部を加
- (3)まず、筋かいBOX
- (4) たすき掛け筋かい0
- (5) 同要領にて順に1 『
- (6) 最後に筋かいの取り
- d . 第二次構造金物取付け
 - (1)金物取り付け忘れた る。
 - ・外壁回り構造金物
 - ・間仕切り壁下部の
 - ・階段室や吹抜けに
 - (2) 各接合部に所定の€

仕様	而
柱の位	置
	出隅の柱(外壁)
2階 または 平家	
T-30	その他の軸組端語
2階 部分の 1階	1 階・2 階の柱 <i>t</i> 隅の柱 (外壁)
	1 階が ² 階か 出隅の 柱の場 柱でな ² 階か い場合 柱でな

- (柱)*緊結金物は,柱の 柱頭のみに取り付ける。) *釘はすべて ZN65 *品番の下にアンダ
 - (3)最後に金物の付ける
 - (4)主要構造金物の取り 大きく3回に分けて まず、外壁にから

る。 置出しする。

筋かいを軸組に止める。

引にパッキン材を入れ、筋かい相互

1をすべて取り付ける。 合する。

金物 1

「できるように取付けの順番を定め

金物を打ち付ける。

構造用画材 (壁倍率2)	筋かい 45×90 (壁倍率 2.0)
ど金物 CP - T 同等品	
ど金物 CP - T 同等品	かど金物 CP - T 同等品
S - HD20	
S - HD10	かど金物 CP - T 同等品
ど金物 CP - T 同等品	

,柱には,1 階では柱脚,2 階では

イプのホールダウン金物。

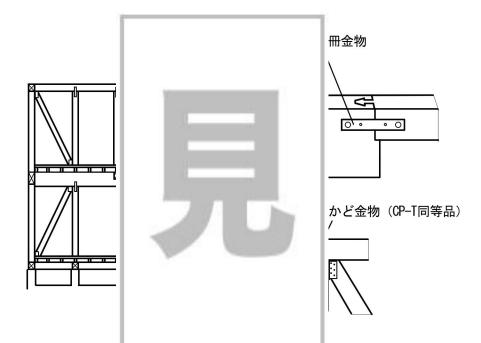
減検する。

生を考慮しながら部位別に整理し、

間仕切り壁下部 (床がらみ)の構造金物取付け 安全のために、床を張った後に間仕切り壁上部の構造金物取付け



e . 第三次構造金物取付け(胴差・桁等の継手および内部管柱・筋かいの上部)



- (1)金物の取り付け忘∤ 定める。(通常は1阝
- (2)金物を取り付ける/をつくる。
- (3)各接合部に所定の3
- (4)足場を移動して次0
- (5) すべての金物取付! や施工不良箇所がな
- (6)この工程は構造用金 かどうか特に念入り

€ができるように、取付けの順番を できりをつけながら進める。) きって金物取付けのための作業足場

いの座金はスプリング座金を使用す

:部屋各部を見回し、取り付け忘れ

『取り付け忘れや取付け不良がない



サンプルのため以下省略